

# 連続した止水壁を容易に施工できます。

## ■ 施工手順



## ■ 止水効果

大型土のうだけを並べても、隙間ができるため止水は困難です。隙間からの流れは基盤を侵食します。



マックスウォールは隙間のない連続した土堤を構築します。底部から透水した水がにじみ出ますが、背面に湛水できるほど良好な止水性能を発揮します。



## ■ 施工事例



**Mak//ax 太陽工業株式会社** 国土環境エンジニアリングカンパニー [www.taiyokogyo.co.jp](http://www.taiyokogyo.co.jp)

大阪市淀川区木川東4-8-4 〒532-0012 TEL06-6306-3056 名古屋市中村区名駅南2-8-11 〒450-0003 TEL052-541-5118  
 東京都世田谷区池尻2-33-16 〒154-0001 TEL03-3714-3361 広島市東区光町1-12-16 〒732-0052 TEL082-261-1251  
 札幌市白石区菊水七条2-7-1-8F 〒003-0807 TEL011-822-2111 福岡市博多区博多駅東2-15-19 〒812-0013 TEL092-411-8003  
 仙台市青葉区五橋2-11-1 〒980-0022 TEL022-227-1364 那覇市金城2-11-10-302 〒901-0155 TEL098-859-7660

●一級建築士事務所 ●特定建設業大臣許可(特-23)第381号 ●一般社団法人 日本膜構造協会正会員 ●海洋環境保全技術委員会会員 ●一般社団法人 リバーク/研究会会員

# MAXWALL

## マックスウォール

連続箱型鋼製枠



太陽工業株式会社

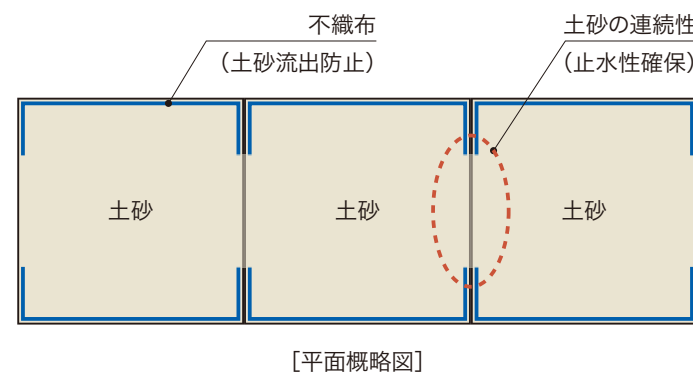


## 災害復旧・復興への適用 及び防災用備蓄資材の整備



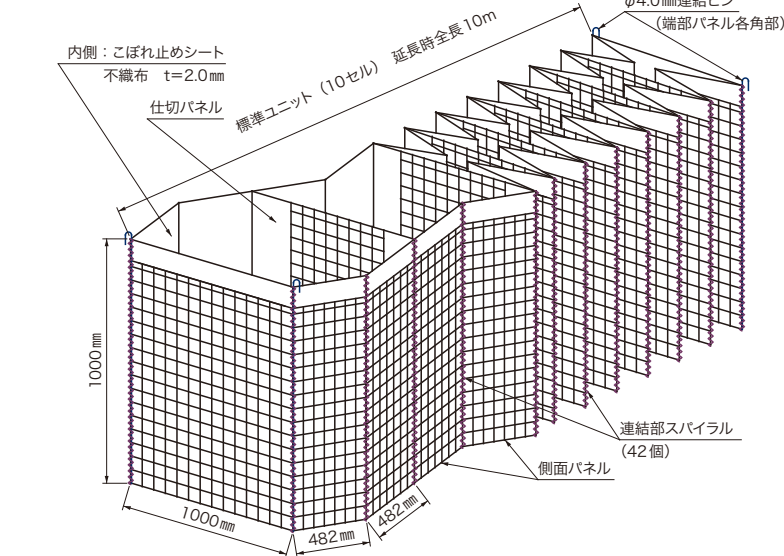
震災や水害で被災した箇所は、完全復旧までの間、日常的に起こる浸水・冠水小規模な土砂崩落の被害から解放されていない場所も少なくありません。マックスウォールは、このような場所で、地盤の嵩上げ、止水、土留め対策として、本復旧までの長期対策としての利用を目的とします。

マックスウォールは、亜鉛メッキ鉄線溶接メッシュのカゴを連結した構造で、カゴの内側には充填物のこぼれ出しを防止する不織布を張り、簡単に展開・連結・充填設置することが可能です。また、鋼製枠で構成されているため耐久性があり、長期使用が可能です。



### 製品概要

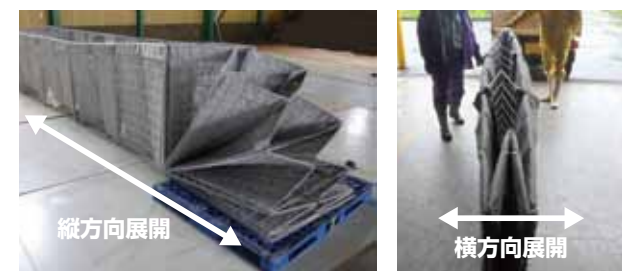
例) マックスウォール LB-10



マックスウォールの種類

種類	高さ(m)	幅(m)	セル数	全長(m)	備考
LB-9	1.37	1.06	9	10.0	縦方向展開
LB-10	1.0	1.0	10	10.0	縦方向展開
BB-4	1.0	1.0	4	4.0	横方向展開
BB-6	1.0	1.0	6	6.0	横方向展開

※全長は展開時の約寸法です



# MAX WALL

## マックスウォール

施工が容易で重機併用により時間が短縮

充填材を選ばず、砂や砕石、現地発生土なども使用可能

段積みや分割・短縮・延長・屈曲などが可能

カゴが連結されているので一体性が強い

組み立て済みで、すぐに使用可能

亜鉛メッキ鉄線溶接メッシュのカゴと不織布で構成

平積み状態で運搬・保管が可能

- 冠水・浸水対策 仮設堤防
- 河川堤防 復旧の 裏法材
- 崩壊地 復旧の 土留め
- 盛土内の ドレーン材 や土留め
- その他、 嵩上げ材 として

## 連続した止水壁を容易に施工できます。



連結による一体性



連続した止水壁の構築



美観の優位性

中長期では難点が多い

現状対策 (大型土のう)



劣化や亀裂



波浪や流れ等で転倒



隙間から浸水



美観的に優れない

